

## ②企画書

# 大災害発生時に利用する 聴覚障がい者 「お助けシール」制作のご提案



NPO法人  
ベターコミュニケーション研究会 (BCS)

# 大震災発生時、聴覚障がい者は...

1

(津波警報が発令されたが、聞こえなかった)「近所の知り合いに引っ張られて高台に連れて行かれて、うしろを振り返ると津波が押し寄せていることが判った」  
(京都市ろあにユース 2011年5月1日号)

2

(停電でテレビもダメ)「停電などでテレビは映らず、ファックスは使えない。情報が入らず、地震や津波の大きさを知ったのは4日後」  
(日本聴力障害新聞 2011年5月1日)



3

(配給を告げるメガホンが聞こえなかった)「みんなが行く方向について行った。しかし、弁当の配給は終わっていた。」  
(Twitter より)



4

「地震で停電。回りは真っ暗。何も見えない。となりにだれがいるのかさえ、判らない。聞こえる人は暗闇でも声を頼りに判断できるが、聞こえない人はどうしようもない。まして、聴覚障害は『見えない障がい』なのだから。せめて暗いところでもわかる光るシールでもあればありがたい」  
(NPO法人BCSへの意見メールより)

## 「見て分かる形」での配慮を



1995年1月17日  
阪神淡路大震災  
写真:山村武彦



2004年10月23日  
新潟県中越地震  
新潟日報提供

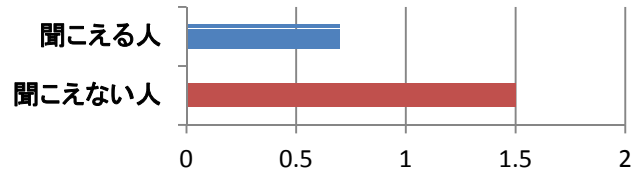


2008年6月14日  
岩手・宮城内陸地震  
共同通信提供



2011年3月11日  
東日本大震災  
写真:埼玉県小出真一郎氏提供

聞こえる人の被災率、0.7%、聞こえない人の被災率1.5%



私は人生の中で4つの災害を見てきました。特に災害当初、よく聞かれる一番困った事は「聴覚障がい者、手話通訳者や要約筆記者を探す事」でした。

一見では、聴覚障がい者と健聴者の区別がつかまずるので、工夫が必要になります。

いざとなった時、聴覚障がい者と健聴者お互いの目印に。場面を考慮してこの商品を発案しました。一人でも多くの人が救われたら。そういう願いを込めて。

名付けて

## 「お助けシール」

2011年7月、聴覚障害者の全国組織である(財)全日ろう連は本年3月に起きた東日本大震災の聴覚障害者の死亡者数を17名と発表しました。人口比にして1.5%。聞こえる人の比率が0.7%(警察庁)というから驚く数字だ。

津波情報が聞こえなかったのが主な原因らしい。見えない障害である聴覚障害には識別手段が必要だ。

日本聴力障害新聞  
2011年5月1日刊



# BCSは、聴覚障がい者のための「お助けシール」を作りました

万が一、災害が発生したら、このシールを帽子、ジャンパー、リュックなど目立つ所に貼って、「自分が聞こえないこと」を周囲に知らせます。

健聴者、手話通訳者等もシールを貼って、周囲にいる聴覚障がい者に「私が通訳ができる」ことを知らせる事ができます。

カバンの中に入れおいて、とっさに使う。「**備えあれば、憂いなし**」です。突然の災害に備えて、シールを挟んで、障がい者、関係者、団体等に配って啓発します。

## シールデザイン案(2パターン)

	聴覚障がい者用	健聴者用	裏面(共通)
A			
B			

左は昼間、右は夜間

寄贈: ●●● <http://www.mitsubishicorp.com/jp/>

シールの協賛欄に会社名とURLが入ります。

マスコミなどに協賛社として紹介します。

BCSのホームページの寄贈者欄に記載します。

とりあえず、できることからはじめてみませんか。

7万円あれば333人に届きます。30万円あれば1428人に届きます。

御社をPRしながら、社会貢献してみませんか。

①行政を通じて避難所に、②団体を通じて会員に、③マスコミを通じて関係者にお届けいたします。

# BCSの活動について



<http://www.bcs33.com>

「私の見た東日本大震災-我が社の社会的役割と使命とは=」阪神淡路大震災、新潟県中越地震、岩手・宮城内陸地震、東日本大震災を見てきた著者が情報バリアフリーの必要性を説く。

交通費(200Km以上は宿泊費加算)など実費のみで引き受けます(但し、2014年3月11日まで)。

なお、講演料をいただけるのであれば、NPO・BCSを応援しているタレントの黒柳徹子さんが国連ユニセフ親善大使を務めている国連ユニセフ協会を通じて東日本大震災の支援に大部分を寄付させていただきます。

★★★

プロフィール…中園秀喜(ペンネーム 岩淵紀雄)。大分県生まれ。ベターコミュニケーション研究会、情報バリアフリー・アドバイザー。国土交通省、経済産業省、厚生労働省、総務省消防庁などバリアフリー・ユニバーサルデザイン関係委員、NHK「聴力障害者の時間」司会歴任。「拝啓、病院の皆様」-聴覚障害者が会えるバリアの解消を-(現代書館)、「聞こえ」のバリア解消への提言~共生社会を目指して~(NHK出版)他、著書多数。平成19年度「勇気ある経営大賞」・優秀賞等各種表彰。「私の見た東日本大震災と社会的役割など」など講演中。

★★★

★★★

送金方法

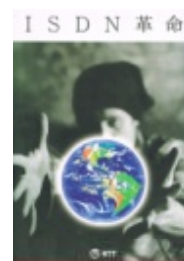
ゆうちょ銀行 店番008普通預金4022355

特定非営利活動法人ベターコミュニケーション研究会

郵便振込口座 00130-2-41109(加入者名)

ベターコミュニケーション研究会

★★★最近の実績



平成22年度、東京都中野区公益基金助成事業の助成金/

「中途失聴者の自立支援啓発冊子作成・配布事業」/

聴覚障害者に対する火災意識調査 / 総務省消防庁消防研究所/

難聴者・中途失聴者病院マニュアル/福祉医療事業団 / ISDN革命(NTT)

詳しくは <http://www.bcs33.com>

**「力のある人は力を、知恵のある人は知恵を、お金のある人は寄付を」**

お問い合わせ先:

TEL/FAX 03-3380-3324

equal@bcs33.com

〒164-0014 東京都中野区南台2-51-7-707